

授業科目 形態別介護技術III（手話）

【担当教員名】 宮下 榮子、石橋 富美世	対象学年	3	対象学科	社会（介護コース必修選択）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【概要・一般目標：G10】
 ・聴覚及び言語障害者の特性に応じた介護に関する知識を習得する。
 ・手話を通じて、聴覚障害者・言語障害者とのコミュニケーションをとることができる能力を身に付ける。

【学習目標・行動目標：SBO】
 ・聴覚及び言語障害者の特性に応じた介護に関する知識を習得する。
 ・介護技術としての手話について理解し、実技の習得につとめる。
 ・手話技術を習得し、利用者とのコミュニケーションをとることができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		
2	介護技術としての手話（理論と実技）		
3	介護技術としての手話（理論と実技）		
4	介護技術としての手話（理論と実技）		
5	介護技術としての手話（理論と実技）		
6	介護技術としての手話（理論と実技）		
7	介護技術としての手話（理論と実技）		
8	コミュニケーション介護演習（福祉用具・筆談・読話など）		
9	日常生活介護演習（健康管理・身辺管理・家事管理・特殊福祉用具の取り扱い）		
10	日常生活介護演習（健康管理・身辺管理・家事管理・特殊福祉用具の取り扱い）		
11	聴覚・言語障害と関連医学領域の基礎知識		
12	聴覚・言語障害に起因する介護上の諸問題		
13	残存感覚機能の特性と活用		
14	聴覚・言語障害をともなう重複障害		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況・筆記試験・実技試験の総合評価とする	【履修上の留意点】
----------------------------------	-----------